

糖尿病(医療)

現状(これまでの取組を含む)

1 現状

(1) 疾病の状況(平成26年度 人口10万人対)

- ・糖尿病による失明発症率
1.39 (21.5%減)
- ・糖尿病腎症による新規透析導入率
11.45 (2.0%減)
- ・糖尿病の年齢調整死亡率
男性 6.0 (3.2%減) 女性 2.4 (7.7%減)

(2) 医療機関等の状況

- ・糖尿病地域連携の登録医療機関(平成29年4月1日現在)
病院159、診療所1,961、歯科診療所1,425 計3,545
- ・糖尿病医療連携に参画する多職種の人数(27年度末)
東京都医師会糖尿病予防推進医講習会修了者 975人
日本糖尿病協会登録医・療養指導医(都内) 415人
日本糖尿病療養指導士(CDEJ) 1,784人
糖尿病療養指導士(LCDE) 1,753人
- ・地域医療連携クリティカルパスの導入率 8.11%(27年度末)

2 これまでの取組状況

(1) 地域連携に係る取組

- ・糖尿病医療連携推進協議会、圏域別検討会(12医療圏)
- ・「糖尿病地域連携の登録医療機関」の登録・運用
(登録機関数3,545機関(平成29年4月1日時点))

(2) 糖尿病に対する普及啓発

- ・圏域別検討会における地域の住民及び医療従事者に対する普及啓発

課題

1 予防から治療までの医療連携の強化を図る必要

区市町村における発症・重症化予防の取組の促進、かかりつけ医、専門医等との連携、関係機関との連携の充実
(糖尿病性腎症重症化予防に重点を置いた取組を推進)

2 地域連携に係る実効性のある取組の促進が必要

- (1) 「糖尿病地域連携の登録医療機関」に参画する医療機関数を増やすとともに、登録医療機関制度を活用した取組の推進
- (2) 圏域別検討会の取組など、広域連携の充実

3 糖尿病に対する普及啓発が必要

住民に身近な区市町村や医療圏、関係団体との連携により、さらに効果的・効率的に行うことが必要

今後の方向性

1 予防から治療までの医療連携の強化

2 地域連携により実効性のある取組を行う

3 糖尿病に対する普及啓発の促進